

第6回 生物の多様性を育む農業国際会議（ICEBA2023）

「トキと共生する佐渡の里山」から始まる 新・生物多様性農業

1. 開催趣旨

生物の多様性を育む農業国際会議（International Conference for Enhancing the Biodiversity in Agriculture）は、生物多様性を基盤とした地域循環型の農業技術の確立と、国内外への普及を最終目標としている会議です。トキとの共生を目指した農業を行っている佐渡では、第2回となるICEBAを、2012年に開催しています。

このたび、第6回となるICEBA2023が、再び佐渡で開催されます。今回のテーマは「新・生物多様性農業」。生きものに配慮した農法、有機農産物、SDGsや脱炭素を踏まえた、これからの農業のかたちを考えます。

2. 開催会場（いずれも新潟県佐渡市）

メイン会場：あいぽーと佐渡（両津夷 384-11）

分科会会場：トキ交流会館（新穂潟上 1101-1）、両津図書館（両津湊 198）

3. 開催期間 令和5年11月18日（土）13:30～19日（日）12:00

（エクスカージョン 19日 13:00～15:00）

4. 参加費・定員 全プログラム参加無料・先着申込150名（分科会は各50名）

5. 主催者 佐渡市（運営協力：ラムネットJ、（公財）IGES）

6. 事務局・お問い合わせ・参加申し込み先

佐渡市 農林水産部 農業政策課

〒952-1292 新潟県佐渡市千種 232 番地

電話：0259-63-5117（土日祝を除く 8:30～17:30） FAX：0259-63-5127

参加お申し込みは、以下ウェブページにございます申込フォームをご利用いただくか、参加申込書の提出（FAXなど）にてお願いいたします。



佐渡市ウェブサイト ICEBA2023 詳細ページ

← <https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2018/52740.html>

7. プログラム詳細

【11月18日 13:30～17:20】

(1) 開会式 (13:30～13:40)

(2) 鼎談「歴代 ICEBA を振り返る」 (13:40～14:10)

登壇：ラムサール・ネットワーク日本 呉地 正行 氏

栃木県小山市市長 浅野 正富 氏

新潟県佐渡市市長 渡辺 竜五

(3) 基調講演「生物多様性保全・脱炭素に向けた農業」 (14:10～15:10)

講師：東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 橋本 禅 氏

(4) 情報提供 (15:10～15:50)

① 「生物多様性を表示した農産物の流通」

登壇：農林水産省大臣官房バイオマス政策課

みどりの食料システム戦略グループ長 久保 牧衣子 氏

② 「脱炭素と生物多様性の両立 (仮題)」

登壇：環境省関東地方環境事務所 所長 松本 啓朗 氏

(5) 事例報告 (15:50～17:00)

① 「トキとの共生を目指した農業 (仮題)」

登壇：佐渡農業協同組合 営農振興部 販売企画課 山田 慎 氏

② 「韓国における有機給食の推進状況」 ※オンライン中継

発表：韓国・慶熙 (キョンヒ) 大学兼任教授 姜乃榮 (カン・ネヨン) 氏

③ 「持続可能な社会を目指す上での農業分野での取組」

登壇：パタゴニア日本支社 パタゴニアプロビジョンズ

ディレクター 近藤 勝宏 氏

④ 「中国塩城市の取組 (仮題)」 ※動画放映予定

発表：中国・塩城市 (仮)

(6) サイドイベントからの提案 (動画放映 17:00～17:20)

佐渡市・豊岡市・小山市・大崎市 子ども交流事業より

【11月19日 9:00～12:00】

(1) 第1～3分科会 (9:00～10:30) ※各会場を周回するシャトルバス有

① 第1分科会「生物の多様性を育む農業のすすめ」 会場：トキ交流会館 予定

佐渡市での生物多様性への盛り上がりが停滞しつつある近年、全国的には同様な地域や、逆に先進的に取組を進めている地域があります。両地域において、生物多様性とは何かを今一度理解し、取組拡大の機運を醸成する方法を考えます。

座長：呉地 正行 氏（日本雁を保護する会）

パネリスト：船橋 玲二 氏（NPO 田んぼ/宮城県大崎市）

茨木 昭行 氏（徳島県小松島市役所）

濱田 栄治 氏（(農)アグリスターオナガ/石川県羽咋市）

佐々木 邦基 氏（農業者/佐渡市）

② 第2分科会「地域再生農業（生物多様性と脱炭素）」 会場：両津図書館 予定

生きものを育む農業が広まる中、気候変動がもたらす悪影響に対峙・適応しつつ、温室効果ガス削減にも貢献する地域再生農業のあり方が問われています。ICEBA の場から、好事例を発信するとともに、その動きをさらに大きくする方法を考えます。

座長：藤野 純一 氏（(公財)地球環境戦略研究機構）

パネリスト：舘野 廣幸 氏（民間稲作研究所）

岸 健二 氏（コープ自然派事業連合）

木村 純平 氏（パタゴニア日本支社）

藤井 絢子 氏（菜の花プロジェクトネットワーク）

齋藤 真一郎 氏（(有)齋藤農園/佐渡市）

③ 第3分科会「安全安心な農作物の提供」 会場：あいぽーと佐渡 予定

生物多様性を育む農業を次世代に継承していくためには、生産・消費・教育をつなぐことが大切です。佐渡が取り組もうとしていることを発信・実現するための課題、先進事例からの学びを考え、有効で円滑な推進方法を導きます。

座長：斎藤 順 氏（新潟食料農業大学）

パネリスト：青山 浩子 氏（新潟食料農業大学）

手塚 幸夫 氏（房総野生生物研究所、いすみ教育ファーム/千葉県）

山本 隆之 氏（兵庫県豊岡市役所）

佐々木 綾乃 氏（市民/佐渡市）

(2) 分科会報告・閉会式 (11:30～12:00)

各分科会座長からの総括報告、次回 ICEBA 開催地紹介、大会宣言。

【11月19日 13:00～15:00 エクスカーション】 ※先着申込 20名まで

「トキと共生する里山散策ツアー」 13:00 あいぼーと佐渡発 15:00 両津港着

トキ交流会館付近で行う、現地ガイド付き散策ツアーです。野生のトキが生息している里山環境を散策しましょう！

(ご注意事項)

- ・小雨決行を予定しております。屋外を散策できる服装でお越しください。
- ・昼食や飲み物はつきませんので、各自でご用意ください。
- ・お申込多数の場合、ICEBA 本体プログラム（18日 13:30 ～ 19日 12:00）に参加された方のお申し込みを優先いたします。